

第24期 事業報告及び計算書類等

第24期 自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

第 2 4 期 事 業 報 告

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

1 事業の現況

(1) 事業の経過及び成果並びに今後の課題

コウノトリ但馬空港の定期便の利用者数は 30,660 人と開港以来初めて3万人を突破しました。また、利用率も 66.3%と過去最高を記録し、羽田乗継利用者は 10,884 人と4年連続で1万人を超える結果となりました。

これらは、地元市町や推進協議会が中心となり、航空会社・旅行会社などと連携した各種旅行商品の開発・販売促進、首都圏や大阪における観光PRとタイアップしたキャンペーン等の展開、さらには運賃助成制度等、利用者ニーズに応じた様々な取り組みの成果です。

また、午前便を1時間遅らせる冬季ダイヤが定着し、利用率が向上したことや、但馬空港初の取り組み「但馬空港まるごと見せちゃいます企画」が好調であったことも一因と思われます。

一方、運営面では公共施設等運営権に基づいた滑走路等の空港基本施設及び航空灯火等の航空保安施設などの空港本体とターミナルビルの一体運営を行いました。

【主な事業内容】

当期の主な事業としては、①公共施設等運営権に基づき、滑走路等の空港基本施設及び航空灯火等の航空保安施設の管理運営、②ターミナルビル等の施設賃貸業及び空港公園とその周辺施設の管理業務、③航空機燃料販売事業、④但馬広域防災拠点施設管理業務の受託、⑤空港利用促進PR事業を展開し、収益の確保に努めました。

事業展開としては、当期も利用者に『安全で安心な空港づくり』と『親しまれる空港づくり』の2本を柱として各種事業に取り組みました。

【主な取組内容】

まず、『安全で安心な空港づくり』に向け、空港基本施設やターミナルビルの適切な施設管理に努めるとともに、但馬空港総合防災（航空機事故）訓練、ハイジャック対応訓練など各種訓練の実施や但馬空港保安委員会を運営し、セキュリティの確保に取り組みました。

次に、『親しまれる空港づくり』として「空の自然教室」や「国内乗り継ぎキャンペーン」など各種イベントへの参画のほか、普段立ち入ることのできない滑走路など制限区域を当社の社員が案内する「但馬空港まるごと見せちゃいます企画」を実施することにより、空港の広報・PR活動や利用促進に積極的に努めるとともに、来港者へのサービスの充実を図りました。

【当社の業績】

以上のような状況のなかで、営業活動に努めました結果、次のような業績を収め、引き続き黒字基調を堅持することが出来ました。

(売上高)

売上高は、テナント料収入、イベント料収入などが増額、燃料販売収入が事業者撤退により減額となりましたが、運営権による補助金収入により、前期比 50,741千円増の413,574千円となりました。

(売上原価)

売上原価は、燃料仕入、共益費、受託事業費などですが、除雪経費等による空港運営費の増加により、前期比43,269千円増の292,156千円となりました。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費は、老朽化による除雪車輛の点検整備やターミナルビル等の修繕、人件費、法人事業税の増加分も含め、前期比4,767千円増の117,285千円となりました。

(営業利益)

この結果、売上高から、売上原価、販売費及び一般管理費を差引した後の営業利益は前期比2,705千円増額し、4,133千円となりました。

(特別損失)

当社と取引のあった事業者が経営不振に陥り、事実上倒産したため、貸倒損失として3,760千円を計上しております。

(当期純利益)

営業利益に預金利息等の営業外収益、特別損失を加減した後の利益は1,221千円となり、法人税等998千円を支払い後の当期純利益は223千円となりました。

(当期末利益剰余金)

前期末の繰越利益剰余金に当期純利益を加えた当期末の利益剰余金は18,693千円となりました。

【対処すべき課題】

民活空港運営法及び民間資金法に基づき、但馬空港本体とターミナルビル等空港周辺施設の一体運営が2年経過し、これまで以上の効率的な運営に努め、一層の収益確保に向けて、積極的な営業活動を展開してまいります。但馬空港を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、空港施設や路線の利用など何卒、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 財産及び損益の状況

区分 (期間)	第21期 25.4.1~26.3.31	第22期 26.4.1~27.3.31	第23期 27.4.1~28.3.31	第24期 28.4.1~29.3.31
売上高	112,429千円	174,305千円	362,833千円	413,574千円
当期純利益	1,438千円	3,624千円	1,082千円	223千円
1株当り当期純損益	234円	588円	175円	36円
総資産	353,116千円	397,428千円	434,883千円	603,861千円

2 会社の状況

(1) 主要な事業内容

但馬空港の空港本体及びターミナルビル、その周辺施設の適切な管理を行うとともに、航空機燃料販売等を行い、空港全体の管理運営を担っています。

また、「但馬空の自然教室」等空港を核とした地域交流事業に積極的に参画するとともに、「但馬空港まるごと見せちゃいます企画」を実施するなど、航空・空港への関心を高める取り組みを行っています。

(2) 事業所

本店 兵庫県豊岡市岩井字河谷1598番地の34

(3) 株式の状況（平成29年3月31日現在）

ア 発行する株式の総数	8,000株
イ 発行済株式総数	6,160株
ウ 当期末株主数	28名
エ 大株主の持ち株等	

株主名	持株数	持株比率
兵庫県	2,000株	32.47%
豊岡市	1,594株	25.88%
日本航空(株)	800株	12.99%
新関西国際空港(株)	200株	3.25%
養父市	168株	2.73%
(株)三井住友銀行	120株	1.95%
三井住友海上火災保険(株)	120株	1.95%
朝来市	116株	1.88%
豊岡市商工会	109株	1.77%
(株)但馬銀行	100株	1.62%
但馬信用金庫	100株	1.62%

(4) 従業員の状況（平成29年3月31日現在）

従業員数 : 18名 平均年齢 : 50歳

(5) 役員の状況（平成29年3月31日現在）

役名	氏名	主な職業
取締役会長	荒木一聡	兵庫県副知事
取締役副会長	中貝宗治	豊岡市長
代表取締役社長	糟谷昌俊	兵庫県県土整備部長
常務取締役	高柳誠	(常勤)
取締役	広瀬栄	養父市長
取締役	宮垣和生	但馬信用金庫会長
取締役	奥藤博司	但馬地域商工会振興協議会会長
監査役	多次勝昭	朝来市長
監査役	加藤幹夫	(株)但馬銀行取締役本店営業部長

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<u>流動資産</u>		<u>流動負債</u>	
現金及び預金	152,138,008	買掛金	1,837,034
売掛金	3,136,309	未払金	128,385,741
有価証券	220,000,000	預り金	315,790
印紙証紙	898,908	未払法人税等	1,962,900
棚卸資産	4,503,272	賞与引当金	4,748,641
未収金	65,911,703		
前払費用	1,975		
未収消費税	21,773,227	流動負債 合計	137,250,106
流動資産 合計	468,363,402	<u>固定負債</u>	
<u>固定資産</u>		預り取引保証金	1,080,000
<u>有形固定資産</u>		リース未払金	45,360
機械装置	277,000	退職給付引当金	3,793,000
車輛運搬具	8,808,885	圧縮未決算特別勘定	135,000,000
工具器具備品	1,848,000	固定負債 合計	139,918,360
減価償却累計額	△ 10,685,318		
建設仮勘定	135,000,000	負債合計	277,168,466
有形固定資産 合計	135,248,567	<u>純資産の部</u>	
<u>無形固定資産</u>		<u>株主資本</u>	
電話加入権	191,240	資本金	308,000,000
ソフトウェア	40,333	利益剰余金	
無形固定資産 合計	231,573	その他利益剰余金	18,692,756
投資その他資産		利益剰余金 合計	18,692,756
長期前払費用	17,680	株主資本 合計	326,692,756
投資その他資産 合計	17,680		
固定資産 合計	135,497,820	純資産合計	326,692,756
資産合計	603,861,222	負債及び純資産合計	603,861,222

損益計算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
売上高	413,573,761
燃料販売収入	18,044,259
テナント料収入	22,648,876
物販収入	5,409,435
受託事業等収入	208,000
イベント料収入	161,448
空港運営収入	367,101,743
売上原価	292,155,671
期首燃料・商品棚卸高	4,842,445
燃 料 仕 入 費	13,438,154
共 益 費	17,264,303
受 託 事 業 費	24,840
空 港 運 営 費	261,089,201
期末燃料・商品棚卸高	4,503,272
売上総利益金額	121,418,090
販売費及び一般管理費	117,284,601
営業利益金額	4,133,489
営業外収益	846,983
受 取 利 息	450,747
その 他 営 業 外 収 益 等	396,236
経常利益金額	4,980,472
特別損失	3,759,635
貸 倒 損 失	3,759,635
税引前当期純利益金額	1,220,837
法人税、住民税及び事業税	998,000
当期純利益金額	222,837

株主資本等変動計算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

(単位:円)

区 分	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株 主 資 本 合 計	
		その他利益剰 余金 (繰越 利益剰余金)	利 益 剰 余 金 合 計		
前 期 末 残 高	308,000,000	18,469,919	18,469,919	326,469,919	326,469,919
当 期 変 動 額					
当 期 純 利 益		222,837	222,837	222,837	222,837
当 期 変 動 額 合 計		222,837	222,837	222,837	222,837
当 期 末 残 高	308,000,000	18,692,756	18,692,756	326,692,756	326,692,756

当期末残高の繰越利益剰余金 18,692,756 円は、全額次期に繰り越しいたします。

個別注記表

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 総平均法による原価法を採用しています。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法を採用しています。
- (3) 固定資産の減価償却方法
- (a) 有形固定資産
定率法を採用しています。
- (b) 無形固定資産
定額法を採用しています。
- (4) 引当金の計上基準
- (a) 賞与引当金
従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上しております。
- (b) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、退職給付債務の見込み額に基づき、発生していると認められる額を計上しています。
- (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
- (a) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借り主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
- (b) 消費税の処理方式 税抜方式によって処理しています。

2 株主資本等変動計算書に関する注記

当期末における発行株式総数は、普通株式6,160株で変更はありません。

3 その他の注記

- (1) 有形固定資産の減価償却累計額 10,685,318 円
- (2) 1株当たりの当期利益 36 円
- (3) 平成30年に導入予定の航空機について、日本エアコミューター(株)への手付金・中間払い金に相当する135,000,000円を建設仮勘定へ計上し、兵庫県からの補助金に相当する135,000,000円を圧縮未決算特別勘定として計上しています。

計算書類に係る附属明細書

第24期 自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価格	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	機械装置	1	-	-	-	1	276,999	277,000
	車両運搬具	231,554	-	-	77,105	154,449	8,654,436	8,808,885
	工具、器具 及び備品	118,535	-	-	24,418	94,117	1,753,883	1,848,000
	建設仮勘定(※)	-	135,000,000	-	-	135,000,000	-	135,000,000
	計	350,090	135,000,000	-	101,523	135,248,567	10,685,318	145,933,885
無形 固定 資産	電話加入権	191,240	-	-	-	191,240		
	ソフトウェア	84,333	-	-	44,000	40,333		
	計	275,573	-	-	44,000	231,573		

※ 平成30年に導入予定の航空機について、日本エアコミューター(株)への手付金・中間払い金に相当する135,000,000円を建設仮勘定として計上しております。

販売費及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
役員報酬	6,165,000	
給料手当	29,490,006	
賞与	8,261,434	
報償	5,000	
雑給	21,117,378	
法定福利費	13,608,997	
賞与引当金繰入	4,748,641	
退職給付引当金	539,000	
福利厚生費	256,395	
旅費交通費	3,030,365	
通信費	2,757,069	
研修費	106,242	
荷造運賃	43,422	
広告宣伝費	663,094	
交際費	5,150	
会議費	44,122	
燃料費	1,529,478	
水道光熱費	4,027,195	
消耗品費	1,500,754	
租税公課	3,374,457	
図書費	256,810	
支払手数料	377,059	
諸会費	64,700	
賃借料	1,385,155	
保険料	1,042,991	
修繕費	10,680,983	
事務用品費	771,206	
印刷費	170,927	
寄付金	424,000	TACから兵庫県へ寄付 404,000円(TV177,500円、 音響設備226,500円)
減価償却費	145,523	
雑費	692,048	
合計	117,284,601	

キャッシュ・フロー計算書

第24期 自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

但馬空港ターミナル株式会社

キャッシュ・フロー計算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

税 抜
間接法
単位:円

I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,220,837
減価償却費	145,523
賞与引当金の増加額	205,332
退職給付引当金の増加額	399,000
売上債権の増減額	1,810,353
棚卸資産の増減額	1,179,969
未収消費税等の増減額	△ 4,163,125
仕入債務の増減額	226,754
その他資産負債の増減額	15,948,601
小 計	16,973,244
法人税等の支払額	646,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,619,344
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	220,000,000
有価証券の取得による支出	△ 220,000,000
兵庫県補助金収入 (圧縮未決算特別勘定)	135,000,000
航空機手付金・中間払金支出 (建設仮勘定)	△ 135,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	0
III 現金及び現金同等物の増減額	17,619,344
IV 現金及び現金同等物期首残高	134,518,664
V 現金及び現金同等物期末残高	152,138,008